



国際委員会 活動報告と JASAグローバルフォーラム 2012のご案内

皆さん、こんにちは

今年度から国際委員会の委員長をつとめさせていただく事になりました廣田です。

組込みシステムビジネスは岐路に立たされていると言われていいます。単に技術面、人材面だけでなく、現在の日本の経済状況により、ビジネスとして岐路に立たされているのではないのでしょうか。特に組込みソフトウェアについては「これからも国内にとどまり付加価値を高めていくべきだ」という議論もありますが、マーケットとしては国内だけにとどまる必要はないでしょう。とりわけ急成長を続けているアジアのマーケットは非常に魅力的な市場で、なかでも、中国のIT市場規模に関しては2013年に日本の市場規模を上回るといわれています。

しかしながら組込みソフトウェアによる海外マーケットでのビジネス展開の実態はどうでしょうか。非常に困難、非現実的という声が多く聞かれます。そこで国際委員会では本年度の活動テーマとして、「組込みシステムで海外マーケットを開拓するには」を取り上げ海外ビジネス展開の可能性について調査を推進することにいたしました。

表1 JASA国際委員会の活動

名称	内容	時期・回数
国際委員会	活動内容の議論、識者によるスピーチ	2か月に1回
JASA Global Forum	海外参加者を交え成果の発表、交流会	11月ET展示会
国際化推進WS	成功事例、背景等の調査・研究	第4四半期
海外交流	海外業界へのミッション派遣、交流	原則年一回
情報発信	HP、機関誌Bulletin JASA	随時

国際委員会の主な活動は表1の5項目です。委員会活動では、毎回内外の有識者を委員会に招聘し、各国の基礎的概況、インフラ事情、販売チャネルの構築法、現地パートナーの探し方など海外進出する際の基礎となる項目や、アジア企業の課題と日本のIT企業への期待などアジアマーケットで商機を見出す具体的な内容をスピーチして頂き、海外展開の手法を学びます。本年度は、すでにミャンマーと中国安徽省のお話をいただきました。また、現在、中国へのミッション派遣を決めています。これらの取

組結果は、グローバルフォーラムや国際化推進ワークショップにて皆様に展開してまいります。

年内最大の事業は11月のET2012で同時開催される「JASA Global Forum」です。昨年までは主として成功事例を中心に我が国の企業から見た海外進出という視点で皆様に情報を提供してまいりました。今回は、海外企業が日本の組込み産業に何を求めるかを知るという視点で、安徽省、大連、台湾の企業をお招きします。またいまや世界のR&Dを担うと言われるインドの特徴も識者にお話しいただく予定です。表2は現在まで確定したプログラムです。

表2 JASA Global Forum 2012 概要

開催日時	2012年11月15日13時～17時
場所	ET2012 パシフィック横浜会議センター304会議室
演題1	中国ビジネスで日本に期待すること 講演者 遼寧省 大連ソフトウェア産業協会 蘇鋒氏(大連市)
演題2	日中協業で中国内部の巨大マーケットを攻める 講演者 安徽省サービスアウトソーシング業協会 何斌氏(合肥市)
演題3	爆発的な成長を続けるホンハイ(鴻海)が考える台湾EMS戦略 講演者 台北科技市場研究 大槻智洋氏
演題4	台湾IT機器開発の現状と日本の組込み技術への期待 講演者 台湾大学 Cheng-Wen Wu教授
演題5	インド組込み開発受託の強みを分析する 講演者 HCL Japan 永島晃氏

(演題は8月末時点のもの。最新の情報はET公式サイトにてご確認ください)

昨年実施した国際化に関するアンケートでもオフショアから現地ビジネスへの傾向が鮮明となっており、皆様にタイムリーな情報提供と、人脈作りのお手伝いができるものと確信しております。



JASA Global Forum 2011 会場風景